

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

事務事業名		桜川市交通安全母の会運営支援事業				事業区分		担当	
政策体系	政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	030301000708
	総合計画の施策名		0303	交通安全対策の推進		単独/補助	単独	所属課	030301
	政策名		03	安全安心な暮らしのまちづくり					生活環境課
	施策名		03	交通安全対策の推進				課長名	
	手段名		01	①交通安全意識の向上				グループ	市民活動・交通安全G
							担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	11	01	00	交通安全対策事業		
法令根拠	桜川市交通安全関係団体補助金交付要綱					単年度繰返し (平成18年度～) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 桜川市交通安全母の会は、市民が安全で安心に過ごせるまちづくりのため、「交通安全は家庭から」を合言葉に、母親の立場から交通安全活動をボランティアとして展開している。 - 交通安全街頭キャンペーン、立哨等の各種交通安全啓発事業への参加 - 幼稚園・保育所、小中学校交通安全教室への参加 - 高齢者世帯訪問 - 交通安全七夕飾り - 茨城県交通安全母の会連合会事業の協力	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 - 事務局業務全般（通知発送、会議資料作成、役員会補助、啓発品購入、視察研修事務、3役連絡調整、県母の会報告） - 交通安全教室での子供への指導の助言 - 街頭キャンペーンの実施 - 交通安全七夕飾り準備・補助 - 高齢者世帯訪問準備・集計

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・事務局業務全般（会計を除く） ・交通安全教室での子供への指導の助言 ・街頭キャンペーンの実施 ・茨城県交通安全母の会事業の協力	交通安全活動回数	回	35.00	21.00	21.00	21.00	21.00
	役員会、研修会等実施回数	回	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民 母の会会員とその家族	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
	会員数	人	1,861.00	1,805.00	1,805.00	1,805.00	1,805.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民に交通安全思想の高揚を図る。 母親の立場から家族に交通安全思想の高揚を図る。	啓発数	件	1,700.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	交通事故件数（市内）※1/1～12/31	件	73.00	44.00	44.00	44.00	44.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度			期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	360	360	360		0
			事業費計（A）	千円	360	360	360		0
			正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
	18 負担金補助及び交付金	360			18 負担金補助及び交付金	360		
			合 計	360			合 計	360

事務事業名	桜川市交通安全母の会運営支援事業	事務事業No.	30301000708	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
経済の高度成長に伴い、昭和30年代後半から自動車の交通量は急速に増大したが、交通事故特に、子供や高齢者などの弱者の交通事故が急激に増加した。このため「子供やお年寄りを交通事故から守ろう」とする自然発生的な運動として、各地の母親の間で団体設立が行われ、そのバックアップを警察、行政で行うようになった。市町村合併後、H17.12.13より市母の会の組織設立。社団法人全国交通安全母の会連合会がH23.3.31に解散。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・支部を廃止して学校区とつながりを良くし、市内同じ交通安全啓発品を配りたいと言う声が会員から要望があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改 革 改 善 を 行 う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	☒ 結びついている 市民への交通安全思想の高揚を家庭から図っているため政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	☒ 妥当である 母親の立場から市民（家族）の交通安全思想を高揚させる事がこの事業の目的であるので妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	☒ 向上余地がある 市母の会→支部→学校区・分会と連絡調整が多く、また学校区・分会ごとの活動が主となっているため、支部間の情報交換や一体的な活動ができれば今以上の活動が可能と思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	☒ 影響有 母親の立場からの交通安全思想を高揚させる機会がなくなり、また交通安全の連絡調整も必要なことから事務事業を廃止できない。
効 率 性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) ☒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 類似する事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公 平 性	☒ 削減余地がない 現在は各種事業を行うためには最低限必要の補助である。母の会自体で活動が可能になれば、職員の時間外は削減できるが他市町村も市で事務局を運営しているのが現状であり、削減の余地がない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
☒ 公正・公平である 家庭を通じて市民に交通安全思想の高揚を図っているため、偏っておらず公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	市母の会→支部→学校区・分会と連絡調整が多く、また学校区・分会ごとの活動が主となっているため、支部間の情報交換や一体的な活動ができれば今以上の活動が可能と思われる。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 支部間の円滑な情報交換や一体的な活動ができるよう協議していく。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向 上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上		○		維 持				低 下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成 果	向 上		○																				
	維 持																						
	低 下																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果 ②																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 ☒ B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 ☐